

荒井秀行議員の代表質問に関連して質問させていただきます。

【行財政改革に関連して】

市の財政状況が大変厳しいことは、皆さん周知の通りです。

この様な中、人件費において 昨年は、議員の月額報酬の削減を実施し、また本3月議会では、一般職の給与をカットする条例が上程されています。

さて、この様な中、代表質問で荒井議員が質問された様 昨年12月の議会において一般職員の給与改定の条例と共に 特別職 つまりは市長や議員の期末手当の引き上げが可決されました。

ここであらためて特別職の期末手当についてご質問したいと思いますが、

現在、境港市においては、特別職の期末手当1.4倍の特別加算の条例があります。

これは、平成3年 丁度 バブル全盛期のころ 職員さんのボーナスと特別職のボーナスに差をつけなければならないという考え方（傾斜配分）に基づき制定されました。当時はそれでよかったのかもしれませんが。

しかし、今は どうでしょうか 市内の企業さんで昔の様にしっかりとボーナスを支給できている企業さんがどれだけあるでしょうか

また 経営者の皆さんも 社員さんの給与をなんとか工面し、ぎりぎりのところで経営している方々が多くおられます。

私は、市長や議員は、企業で言えば経営者であるという考え方をしています。

厳しい財政状況にあるこの境港市 経営者である市長や議員 つまりは特別職のボーナスを見直す必要があるのではないかと考えています。

改めて市長にお伺い致します。特別職のボーナスは、特別職の何（労力であったり・責任であったり）に対して支払われるべきものとお考えか？ また、その基準は、どの様な基準（国に準じる、職員との比較）にすべきとお考え方をお聞かせ下さい。

●答弁（概略）

職務、責任に対して支払われるもの。特別職報酬審議会の意見を定めており、また行財政改革の一助とするため報酬月額削減を行っているのご理解頂きたい。

●追求質問（概要）

12月議会で特別職の期末手当率0.05ヶ月UPが行われましたが、鳥取県では、職員の場合、給与月額削減との相殺となり、特別職については、期末手当のUPは行われませんでした。市長のお考えは。

●答弁（概要）

自治体ごとに考えがある。（先の答弁と同様）国に準じて議会に上程した。

●要望（概略）

過去の地域経済の状況と今の状況において民間と最もかけ離れているのが「期末手当」であり、市長に答弁頂いた様、自治体ごとに判断していけば良いとい

うことなので、議会の方でも今後議論していきたい。

#### 【夕日ヶ丘団地に関連して】

本3月議会で土地開発公社の支援策として10億円の無利子貸付の案件が上程されています。

これは、現在公社が金融機関から借入しているお金の金利負担を軽減させるための策です

現在公社が抱えている借入金約58億円 その内、10億円を市が無利子で貸付し 金融機関に支払っていた金利約1680万円を浮かせるというものです。

市の立場から言えば 現在積み立てている基金約33億円のうち 10億円を公社への貸付として運用し、その金利0.1%分 年間約100万円を一般会計より基金に積み上げるというものです。

つまり、市と公社が同じ財布であると考えた時、1680万円の金利負担が軽減されるということです。

個別外部監査では、ふたつの財布と指摘を受けていますが ひとつの財布で考えるとこれだけ大きな節減の方法があったのかと驚いています。

さて、ここで市長にお伺い致しますが なぜ今 この策を行うのか 今までに実施出来なかったのか また、貸付金の額が10億円なのか この二点をまずお話し下さい。

#### ●答弁（概略）

この金利対策をもっと早くから講じるべきであった。金額については、市中銀行借り入れを起こすことなく利用出来る額が10億円である。

#### ●追求質問（概要）

一時借入金を利用すれば、基金をもっとうまく運用出来、金利対策が進むと思うが。

#### ●答弁（概略）

基金の運用状況から見て、議会の承認をもらえば、一時借入金を起こし、公社に貸し付けることも考えれるが、公社にとっては2倍のメリット、本市にとってデメリットが生じる。細かな数字は、委員会で行いたい。

#### ●要望（概要）

外部監査報告に公社とうい2つの目の財布と表現されていましたが、結局は1つの財布なのでトータルとしてのメリットを考えて頂きたい。

#### 【環境問題に関連して】

アスベストの問題に関して質問致します。

9月議会で各個質問をさせてもらいました通り、アスベストは、大変危険なものであり 中皮腫の原因の大半がこのアスベストです 発症までの潜伏期間が長いため 今後、このアスベストによる患者が増えると予測されています。

この度の18年度予算においてアスベストが使用されている3施設 この本

庁舎議場、そして市民会館のエントランスホールと会議室 この3施設のアスベスト撤去を行う予算が計上されており大変よろこんでおります。

しかし、この撤去作業の時期、それまでの安全対策に不満を感じています。

アスベストの浮遊量調査の結果が市民会館においては、検出されなかったのですが アスベストの含有量は、エントランスホールにおいては、62.4% 会議室においては59.5%です。

9月の議会でも質問させてもらった様、アスベストの浮遊量調査は、だれも居ない 普段利用されている環境とは、まったく違った環境で調査されています。国の基準値より低いから安全だといえるのでしょうか。

私は、安全対策そして早期撤去をすべきと考えていますが 市長の答弁をお願い致します。

さて次にアダプトプログラムに関して質問をさせていただきます。

荒井議員の代表質問で 中海アダプトプログラムに対する市長としての対応をお聞きしましたが

中海に限らずこのアダプトプログラムという考え方・手法は、市長の目指す「協働のまちづくり」の一つの形である様に感じています。

この様な活動を境港市にも広げていく上で行政の役割は、どの様なところにあるとお考えかお聞かせ頂きたいと思えます。

#### ●答弁（概略）

アスベストが検出された3施設を順次、除去作業を行う。除去実施まで利用者が普段利用する箇所においては、既に囲い込みを実施。利用者への周知など安全対策を行うが、それが充分でないと判断したときは、使用禁止措置を取る。環境測定結果については、一般空気中の平均以下又は検出されませんでした。アダプトプログラムは、「協働のまちづくり」の表れであり、市は清掃用具等の提供など活動が円滑に行えるよう支援をおこなっており、今後の広がり期待したい。

#### 【関連質問を終えて・そして今後】

特別職の期末手当に関して、何度も議会で質問しているが、私自身明快な答えをもっていない。ただ、平成3年に行われた特別加算が今の現状に即しているのか疑問である。

土地開発公社の金利対策10億円であるが監査の指摘を受けた様、2つの財布と言う意識が若干無くなった様にも思うが追求質問での答弁では、疑問を感じる。ただ、執行部が懸念する本市の一般会計のキャッシュフローが難しくなり、財政が硬直化することも否めない。全体の中で最も適切な方法を導き出したい。